



戦略的イノベーション創造プログラム

Cross-ministerial Strategic Innovation Promotion Program 第3期 課題

ポストコロナ時代の学び方・働き方を実現するプラットフォームの構築

「デジタル・シティズンシップ・シティ： 公共的対話のための学校」2年次報告会

2025 **3.20** (木・祝) 13:00-16:50

会場：対面 釧路市生涯学習センターまなぼと幣舞 特別会議室（受付は12:30～）
：zoom配信（事前登録をお願いします）

デジタル・シティズンシップ・シティ（DCC）の社会実装に向けた2年次の成果と課題を報告する。とくに全国展開に向けた北海道での先行実践の概要を授業者からご報告いただくとともに、来年度のカリキュラム・運営体制をめぐって意見交換する。

研究開発責任者挨拶（13:00～13:05）

第1部 DCCの成果と課題（13:05～14:40）

- (1) 概要ー遠隔授業のデザインと子どもの学びー
- (2) 不登校傾向の児童生徒の支援体制の構築
- (3) 市民の学習参加及び国内外の参加体制の構築
- (4) 遠隔授業支援アプリ「TSUNAGU」の開発
- (5) 遠隔授業コーディネーター（TI）の役割
- (6) 質疑応答

第2部 北海道実践報告（15:00～16:00）

- (1) 北海道の市町、魅力探し隊（小4）
- (2) 湿原の太陽光パネルは環境を守るのか、壊すのか（小5・中3）
- (3) 離島空港の役割とはなにか、拡張すべきか（小5）
- (4) 質疑応答

第3部 パネルディスカッション～DCCのミライを語る～（16:00～16:45）

総括コメント（16:45～16:50）

【主催】 SIP第3期研究開発テーマ「デジタル・シティズンシップ・シティ：
公共的対話のための学校」（研究開発責任者：草原和博）

【後援】 国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）

右のQRコード等からお申し込みいただけます。

オンライン参加希望者には、お申し込み後、接続情報をお知らせします。

